



情報教育研究所

<参考>

「情報モラル」

情報社会を生きぬき、健全に発展させていく上で、すべての国民が身につけておくべき考え方や態度。情報モラル教育の目的には、情報社会に的確な判断ができない児童生徒を守り、危ない目にあわせない、危険回避(情報安全教育)の側面もある。

【文科省】『情報モラル指導ポータルサイト—やってみよう情報モラル教育—』より一部引用
<http://kayoo.info/moral-guidebook-2007/nerai/nerai1.html>

(以下は、広辞苑第六版より引用)

「応用」

原理や知識を実際的な事柄にあてはめて利用すること。

「知識」

① ある事項について知っていること。また、その内容。

「知恵」

① 物事の理を悟り、適切に処理する能力。(「理」…①物事の筋道。ことわり。)

「言葉」

- ① ある意味を表すために、口で言ったり字に書いたりするもの。語。言語。
- ② 物の言いかた。口ぶり。語気。
- ③ 言語による表現。

「道徳」

① 人のふみ行ふべき道。ある社会で、その成員の社会に対する、あるいは成員相互間の行為の善悪を判断する基準として、一般に承認されている規範の総体。法律のような外面的強制力を伴うものではなく、個人の内面的な原理。今日では、自然や文化財や技術品など、事物に対する人間の在るべき態度もこれに含まれる。

「倫理」

① 人倫のみち。実際道徳の規範となる原理。道徳。

「こころ(心)」

- ① 人間の精神作用のもとになるもの。また、その作用。
 - 1) 知識・感情・意思の総体。「からだ」に対する。「一の病」
 - 2) 思慮。おもわく。「一を配る」
 - 3) 気持。心持。「一が変わる」
 - 4) 思いやり。なさけ。「一ない仕打ち」
 - 5) 情趣を解する感性。
 - 6) 望み。こころざし。「一まかせぬ」
 - 7) 特別な考え。裏切り、あるいは晴れない心持。「一晴らす」